

地震による家具類の転倒を防ごう！

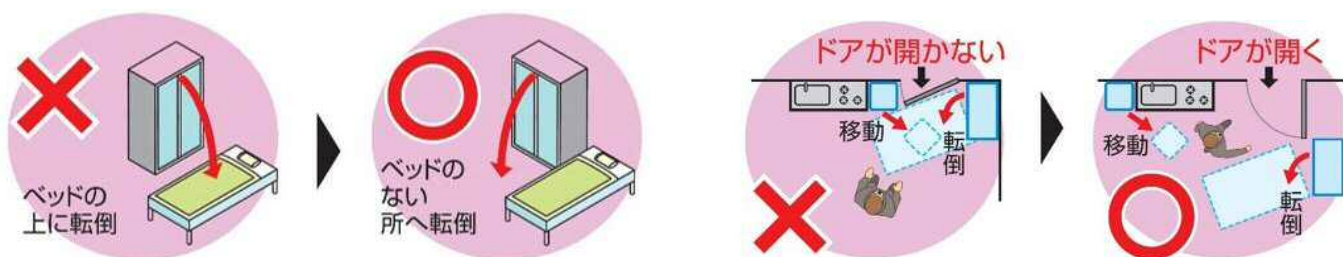
阪神・淡路大震災時に亡くなられた方の8割が家具の転倒によるものでした。また、先の大阪府北部を震源とした地震においても、家具の転倒による死傷者が出ています。大地震が発生した時には、生活スペースの家具類等の耐震化（固定化）が大変重要となります。

① 生活空間の家具を減らそう

・家具転倒対策に最も有効な方法は、集中収納することで居住スペースと収納スペースを分けることです。

② レイアウトを工夫しましょう

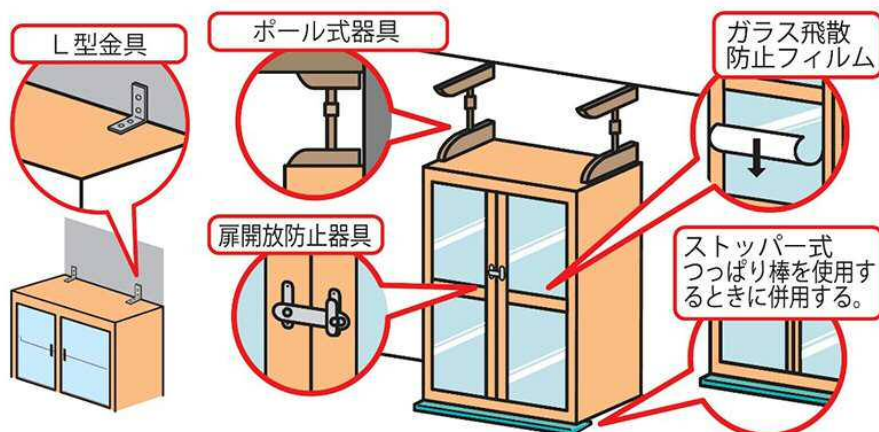
・「寝る場所」や「座る場所」の家具の配置や背の低い家具にするなどの工夫をしましょう。



③ 家具類の固定などの対策をしましょう

○家具類の対策

- ・ネジやL型金具等で固定することを心がけましょう。
- ・壁や家具を傷つけない場合は、ストッパー式器具やポール式器具を組合せる方法もあります。
- ・食器などが散乱してけがをする場合があるので、扉開放防止器具やガラス飛散防止フィルムを貼るなどの対策も必要です。

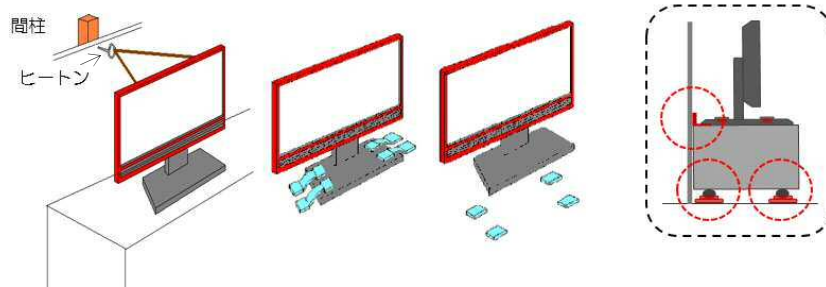


○家電製品の対策

・テレビの対策

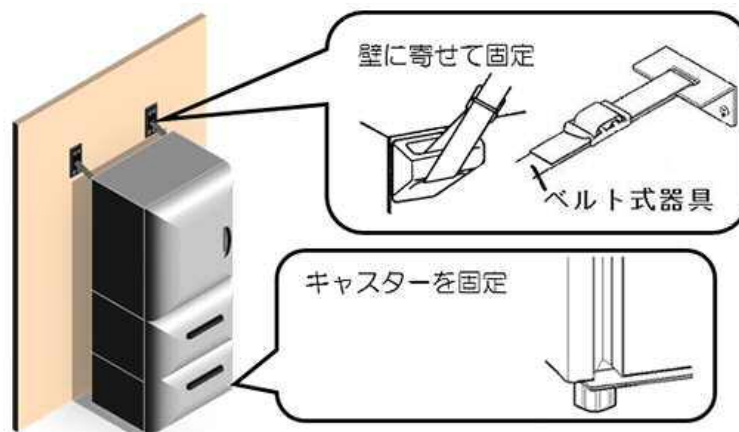
ストラップや粘着マット、ヒートンを使って固定する場合は、テレビ本体の形状・重量や壁の強度に応じた対策が必要です。テレビは重心が高く、テレビ台ごと転倒することがあるので、テレビ台も壁や床に固定しましょう。

※各家電製品は取扱説明書に従い固定してください



・冷蔵庫の対策

脚の部分のロックと上部をベルトなどで背面の壁と連結することが有効です。



・電子レンジの対策

ストラップ式器具やマット式器具で固定し、レンジ台も固定することが大切です。

